

ナンチクが小・中学校に黒豚肉を提供



黒豚肉を味わう岩川小児童の皆さん

2月9日、肉の日になんで株式会社ナンチクが市内の全小・中学校に黒豚肉を提供しました。提供された黒豚肉は140kg。同社は年2回、曾於市・志布志市・大崎町の小・中学校に、地産地消と食育の一環で黒豚肉を提供しています。

提供された黒豚肉は『黒豚のすき焼き風』として児童に振る舞われました。岩川小2年の久木野蒼太さんは「黒豚肉入りの給食で力がわいてきた。5・6時間目の授業も頑張れます」と話しました。

曾於高校で「明日の営農を語る会」開催



後輩へエールを贈る発表者

2月7日、曾於高校で「明日の営農を語る会」が開催されました。同校畜産食農科第1期生の代表5名が、卒業後の進路や後輩へのアドバイスなどを発表しました。

農業大学校に進学する富永吉成さんは「大学では畜産技術を学び磨いていきたいです。大学卒業後は祖父の畜産経営を引き継ぎたい」と話し、南九州大学に進学する飯永華緒理さんは「大学ではトロピカルフルーツの研究を行いたい。曾於市の新たな特産果実を開発したいです」と意気込みを述べました。

元レスリング日本代表が講演



講演を行う野口さん

2月22日、諏訪小学校でPTA教育講演会が開催され、元レスリング日本代表の野口美香さんが講演を行いました。

野口さんは幼少期から国内敵なしで、海外でも多くのタイトルを獲得してきましたが、オリンピック出場のを夢を果たせないまま引退。現在は、モデルや司会業など幅広い分野で活躍しています。

同小5年生保護者の田中憲子さんは「元トップアスリートの話を聞けるのは貴重な体験。子どもとの向き合い方を考えるいい機会になりました」と話しました。

曾於市の新たな焼酎



焼酎 品種別飲み比べセット

道の駅おすみ弥五郎伝説の里にある農土家市が、新たな焼酎をつくり、ふるさと納税用の撮影がおこなわれました。新たな銘柄も3つでき、すべてが農土家市に出荷されている芋を原料に仕上がっています。

ふるさと納税では品種別飲み比べセットとして、黄金千貫（白麹・黒麹）、くりこがね、ジョイホワイト、紅ハルカ、シルクスイートが原料となった焼酎6本セットで返礼品となっています。今回できた焼酎は、これから農土家市での販売もされる予定です。



童話をモチーフにした模擬裁判の様子

2月22日、大隅簡易裁判所で職場体験が行われました。参加したのは岩南小学校5・6年生の5人。裁判所の仕事内容の説明や裁判官への質問、童話をモチーフにした模擬裁判などを体験しました。初めて目にする法廷で児童たちは、裁判官、検察官、弁護人になりきって裁判を進め、全員で評議をし、判決を言い渡しました。裁判官の服（法服）を着ての写真撮影も行われ、裁判所をより身近に感じる一日となりました。

岩南小児童が大隅簡易裁判所で職場体験



植樹後に参加者で記念撮影

2月25日、悠久の森で株式会社サニクリーン九州による「サニクリーン九州 悠久の森植樹祭」が行われました。同社は、福岡県の本社をはじめ九州各県に60拠点を展開しており、マットやモップ等のレンタル・販売を主な事業としています。当日は、県内および都市市から約170名が参加。イタヤカエデ、イロハモミジの計800本を植樹しました。家族連れの参加者は「家族で植樹ができ、記念になりました」。悠久の森にも癒やされました」と話しました。

サニクリーン九州が悠久の森で植樹祭

卒業記念に『さくら』を植樹



大隅中学校



財部中学校



末吉中学校

3月10日、市内3つの中学校で平成28年度卒業記念として、市木の『さくら』の植樹が行われました。記念樹は、卒業生がこの中学校で3年間を過ごした証として植えるものです。さくらの木は、みんなの思い出と夢を栄養に、毎年きれいな花を咲かせることでしょう。